



2022年9月26日

各 位

会 社 名 株式会社 タムラ製作所  
代 表 者 名 代表取締役社長 浅田 昌弘  
(コード番号 6768 東証プライム)  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員  
経営管理本部長 橋口 裕作  
T E L 03-3978-2031

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月11日に公表いたしました2023年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 連結業績予想の修正

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 45,600	百万円 800	百万円 800	百万円 200	円 銭 2.43
今回修正予想(B)	50,500	1,600	1,100	400	4.87
増減額(B-A)	4,900	800	300	200	—
増減率(%)	10.7	100.0	37.5	100.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	41,139	282	652	△55	△0.68

2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 94,000	百万円 3,000	百万円 3,000	百万円 1,800	円 銭 21.91
今回修正予想(B)	105,000	4,500	3,900	2,700	32.87
増減額(B-A)	11,000	1,500	900	900	—
増減率(%)	11.7	50.0	30.0	50.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	88,328	1,564	2,001	△84	△1.02

## 2. 修正の理由

産業機械、家電、エネルギー市場向けの電子部品や、自動車向けの電子化学材料などの売上が堅調に推移すると共に、市場連動販売価格の浸透や、前中期経営計画から取り組んできた工場の自動化推進および拠点再編による物流改善などにより収益性が改善していることから、売上および利益が2022年5月11日に公表した予想を上回る見込みです。現在予想できる範囲において、経営環境の変化による影響や、顧客の需要動向を織り込んでおりますが、緊迫する国際情勢や、半導体をはじめとする部材の需給状況により、自動車関連をはじめとする当社の主要顧客の需要に想定外の変化が生じる場合などにおいては、実際の業績が予想数値と異なるものになる可能性があります。なお当社の場合、足元で生じている急激な米ドル・円相場の変動については、海外生産・輸入販売の多い電子部品事業と、国内生産・輸出販売の多い電子化学実装事業で相殺されるため、全社で見た場合は営業利益への影響は小さいと考えております。

(注) 業績予想は、本資料作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上